

# 福賀小学校をよりよくするためのアンケート【教職員用】集計結果

令和5年12月実施

No.	評価内容	そう 思う	少し そう思う	あまり 思わない	思わ ない	わから ない	評価					評価	わから ない E	
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E			
1	何事にも主体的に関わろうとする心を育てる教育に取り組んでいる。 (重点取組事項)												3.0	0
2	自分から進んで表現する力を育てる教育に取り組んでいる。 (重点取組事項)												3.2	0
3	主体性と表現力を育てるという今年度の重点取組事項を、家庭や地域と連 携して取り組んでいる。(重点取組事項)												3.2	0
4	「きづく」「きめる」「かかわる」「やりぬく」の心や力の育成を意識し授業を 行っている。												3.0	0
5	わかりやすい授業を行っている。												3.0	0
6	一人ひとりの学力向上に向けて取り組んでいる。												3.4	0
7	家庭学習の進め方を具体的に示し、家庭と連携しながら家庭学習を 進めている。												3.0	0
8	地域の人やもの・ことにかかわる学習「ふるさと学習」に取り組んでいる。												3.8	0
9	思いやりの心や規範意識を育てる教育に取り組んでいる。												3.2	0
10	いじめのない学校づくり及びいじめの解消に向けて組織的な対応を 行っている												3.4	0
11	子どもや保護者が相談したときに、丁寧に相談にのっている。												3.6	0
12	学級での子どもたちの取組の様子を丁寧に伝えている。(学年通信等)												3.8	0
13	学校は、教育方針や学校の様子を丁寧に伝えている。(学校だより・HP等)												3.8	0
14	学校は、ふるさとに愛される学校として、積極的に学校を地域に開いて いる。												3.6	0
15	<b>学校は、行事等の見直しに取り組んでいる。</b>												2.8	0
16	子どもたちの間に、いじめは起きていない。												3.2	0
17	<b>子どもたちは丁寧な言葉遣いができる。</b>												2.2	0
18	<b>子どもたちは授業中、正しい姿勢で学習している。</b>												2.0	0
19	<b>子どもたちは、授業でわからないときは、先生や友達に聞いている。</b>												2.8	0
20	子どもたちは、宿題を忘れず提出し、家庭学習の習慣が身についている。												2.6	0
21	<b>子どもたちは、学校のいろいろな場面で、「自分で考え、自分で行動」しよ うという姿を見せている。(チャレンジ目標)</b>												2.4	0
22	<b>子どもたちは、先生やお客さん、友達に進んであいざつができて (チャレンジ目標)</b>												3.2	0
23	子どもたちは、無言で最後まで一生懸命、掃除に進んで取り組んでいる。												3.3	0
24	<b>子どもたちの体力向上に向け、体育の指導や啓発を行っている。</b>												2.6	0
25	<b>子どもたちは読書に取り組んでいる。</b>												2.6	0
26	子どもたちは楽しく学校に通っている。												3.6	0
27	<b>各種会議の長さや回数は適切である。</b>												2.6	0
28	<b>相談しあえ、認めあえる人間関係が職員間にできている。</b>												2.6	0
29	<b>健全な勤務態勢・風通しのよい職場である。</b>												2.6	0
計							0						3.0	
		割合	23.8%	56.6%	18.9%	0.7%	0.0%							

【気付き等】

- 昨年度から2人減った状態で校務分掌を分担しているため、手が回らない役割を教頭が受け持っているが月によっては大変きつくカバーしきれない。来年度も同じように行うのは無理がある。そこで次の提案をする。
- ①歓迎会を内輪で行う。(教頭が転勤のときの世話は?)
- ②太鼓を公民館活動に移す。

●会議は勤務時間内に終わるが、改善の余地がある。

- ①伝達事項は職員会の議題に挙げず、グループウェアを活用し、ペーパーレスへ
- ②職員会の2週間前に教頭が議題をグループウェアに掲示→各担当は職員会の前の週の金曜日までに提案文書をファイルへ(共有→職員会→第〇回職員会へ)
- ③全教職員は職員会のある週月火水のうちに文書を確認し、職員会では質問・協議のみとする。

- 最近では終礼もなくなり、共通理解の場が少なく、そのまま物事が進んでいるように感じる。
- 教員がやらせる・言わせることが多く、シナリオがないと困る現状が子どもたちに見られる。自分が考え・行動できるように支援したい。
- 児童間での愛称呼びが広がっている。教員にも「～ちゃん」呼びが目立つので、授業中と休み時間のけじめをつけたい。
- 人手が足りない、負担が大きいのという声をきくが、この学校へ赴任したからには仕方がない。(そのための手当もついているのでは)
- 管理職の先生が負担が大きく大変だと言われるなら、授業時数を減らしてはどうか。(来年度は学年が離れた複式なので教科が違えば2人必要だが。児童は2人なので)
- 草刈りや運動場の環境整備に時間をとられることについては、育友会の方も軽トラで回りますよと言われていたのに、実現していないのはなぜか。(数年前まではお願いしていたが、除草剤は手につくので、そのほかには、敷地内を定期的に整備する必要がある。最低限の整備を職員が、他の年度は育友会が)

していた。)また、除草剤も上手に使っていけばよいのでは。敷地内全てを常に整備された状態に保つのも無理なので、最低限の範囲を見苦しくない程度にするくらいの気持ちで取り組みれば負担感も軽くなるのではないか。

